

## 5-4 救急要請（119番通報）のポイント

救急要請は119番通報すれば良いというものではありません。下記のポイントを正確に伝えられるように、各学校で作成しているマニュアルに記載しておくようにしましょう。また同時に、職員室や教室等の誰もが確認できる場所に常備するようにしましょう。

### 救急要請（119番通報）のポイント

**① 救急であることを伝える**

119番、  
火事ですか？  
救急ですか？

救急です。

**③ 「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」を分かる範囲で伝える**

どうしましたか？

食物アレルギー既往の有無を伝える

3年生の男児が給食を食べた後、気持ちが悪く言っています。

**② 救急車にきてほしい住所を伝える**

住所はどこですか？

〇〇町〇〇番地  
〇〇学校です。

**④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える**

あなたの名前と連絡先を教えてください。

119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える

私の名前は〇〇〇〇です。  
電話番号は・・・

※ 救急隊から、その後の状態確認などのため、電話がかかってくることもある

- ・ 通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- ・ 必要に応じて、救急隊が到着するまでの応急手当の方法を聞く

文部科学省・〈公財〉日本学校保健会  
東京都：「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」一部改変し、引用

（引用「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」公財）日本学校保健会）

エピペンを所持している児童生徒に関しては、管轄の教育委員会と消防署が連携し、情報共有することが必要不可欠です。もし、エピペンを所持している児童生徒の救急要請を行った場合、エピペンを所持している旨を伝えるようにしましょう。

また、救急車に同乗する教職員は、必ず保健調査票などの個人情報に記載されている書類を携帯するようにしましょう。

救急車到着までの間、エピペンの使用、心肺蘇生、AEDの使用等、適切な救急処置の実施に向けて、より実践的な訓練が必要となります。